

昨年度ご協力いただいた成果

2023 年度県教育予算の概要

ご協力ありがとうございました。

昨年度、県民の皆さんに多くの要求署名（知事宛 129,009 筆）にご協力いただきました。厳しい県財政の中でしたが、多くの成果をあげることができました。主な内容は、以下の通りです。

◎義務標準法の改正で小学校の学級編制基準が引き下げられる

- 義務教育標準法の改正に伴い、小学校 1～4 年生年の学級編制の標準を 35 人に、今後 2 年間で小学校全学年が 35 人学級へ引き下げられ、基礎定数として措置。
- 県独自の予算で中 1 の 35 人学級、小 5～6・中 2～3 の 38 人学級、選択制を継続。

◎県費負担教職員（県単独）小・中学校に 127 人確保

- 児童生徒支援員（生徒指導・いじめ対応教員）：26 人 ・特別支援教育対応教員：30 人
- 養護教諭（一定規模分校、複数配置）：1 人
- 休暇等補助教職員（看護休暇・療養休暇の代替教員）養護教諭・小学校教諭：70 人
- 小学校専科非常勤講師：2 億 5,780 万円（80 校）
- 技能教科専科指導員：1 億 1,831 万円（60 校）

◎小学校専科指導の充実

- 小学校英語専科指導のための加配：174 校 ○小学校高学年における専科指導：182 校

◎特別支援教育の充実

- 特別支援アドバイザー配置事業：7,196 万円（21 人配置）
- 特別支援学校整備事業：7,765 万円

◎生徒指導・教育相談の充実、学校との連携機能強化

- スクールカウンセラーの配置等：8 億 9,582 万円
・小 384 人 中 312 人 高 105 人 事務所等 11 人
- スクールソーシャルワーカーの配置等：1 億 2,648 万円（小中 18 人 高 21 人 事務所 15 人）
- 中学生・高校生を対象とした SNS を活用した相談事業：2,400 万円
- 子どもと親のサポートセンター等における相談事業：7,046 万円
- 生徒指導アドバイザーの配置：673 万円 ○非常勤講師の配置：8,976 万円

◎教員の多忙化対策の推進

- スクール・サポート・スタッフの配置：4 億 3,300 万円
・小中学校：341 人、特別支援学校：33 人
- 教員不足解消に向けた緊急対策：4,000 万円
- 部活動指導員配置に対する助成：3,900 万円（市町村に 65 人）

◎その他

- 公立高等学校就学支援金：82 億 2,548 万円
- 公立高等学校等奨学のための給付金：8 億 7,302 万円
- AI ソフト等を活用した外国語教育：1,030 万円